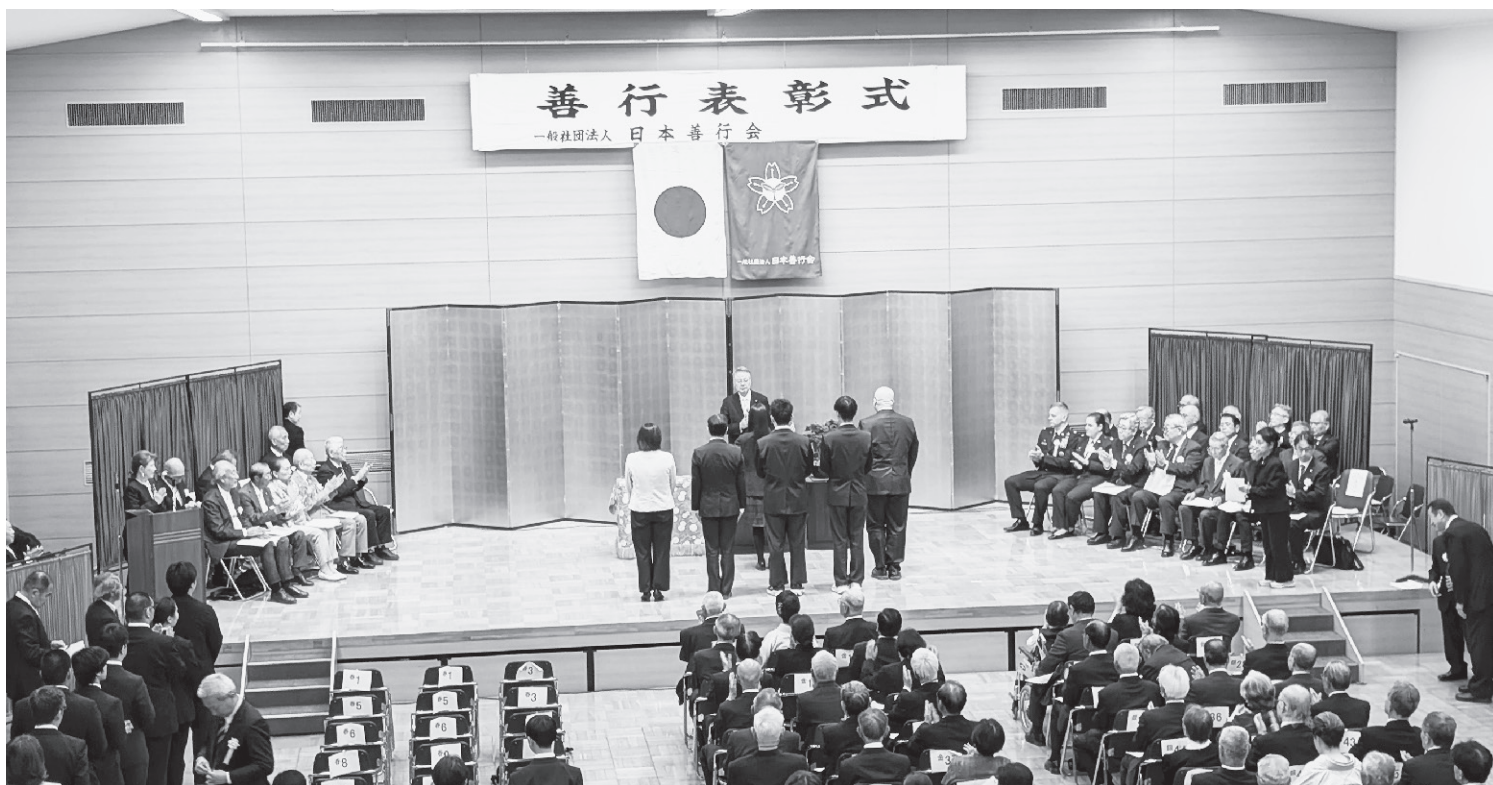


第76回春季善行表彰並びに特別善行表彰式を開催

春季善行個人72名・団体40、特別善行個人・134名表彰



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: <http://www.zenkoukai.or.jp>
メール: info@zenkoukai.or.jp

奇数月1日発行
編集発行人 勝野 堅介

善行は、社会を
照らすともしび。

令和八年度春季善行・特別善行表彰式を、五月十六日(土)午後一時から明治神宮参集殿において、多数のご来賓、本会役員及び全国支部長の出席の下に開催した。今回の表彰式は、昭和二十六年に善行表彰が開始されてから、七十六回目で、七十二名の個人と四十の団体計百十二件が表彰された。

また、特別善行表彰は、善行表彰受賞後も引き続き相当期間、善行活動を継続している方々を対象にした表彰であり、その善行活動の実績により、善行金章と同銀章がある。今回の受賞者は、善行金章が四十四名、同銀章が九十名計百三十四名であった。

表彰式は、国歌斉唱の後、相澤副会長の「開式のことば」で始まり、次に、事務局から日本善行会の紹介の後、勝野会長が主催者としての挨拶を行った。

善行表彰受賞者選考委員会を代表して、富士道正選考委員長から選考経過報告が行われた後、受賞者の表彰に進んだ。

表彰は、春季善行表彰から始まり、司会者が受賞者の名前を読み上げ、各受賞者は順次ステージに上がり、勝野会長から、表彰状が授与され、得賞歌の流れる中、参加者の盛大な拍手で祝福された。

特別表彰善行金章・銀章の表彰に移り、善行表彰と同様、順次勝野会長から各受賞者に対し、表彰状が授与され、参加者の拍手で祝福された。

来賓の祝辞に移り、埼玉県秩父市副市長の引間淳夫氏、前年度特別善行表彰受賞者代表の大和英雄氏、在日米軍横田基地第三七四契約中隊司令ス cott・A・シュナイダー中佐が祝辞をそれぞれ述べられた。

祝電が披露された後、春季受賞者代表の久保樹氏と特別善行表彰受賞者代表・善行金章受賞の四分一明彦氏がそれぞれ挨拶を行った。その後、奈月れい氏による「日本善行会の歌」の紹介と歌唱指導があり、出席者の歌声が会場に響き渡った。

祝芸では、式町水晶(しきまち・みずき)氏によるバイオリンの演奏が披露され、障がいの逆境を乗り越えた美しい音色に会場全体が大きな感動に包まれた。高田副会長による「閉式のことば」が述べられ、式は滞りなく終了した。

式辞

一般社団法人日本善行会

会長 勝野 堅介



彰を受賞され、その後も長年にわたり善行を継続し、特別善行金章・銀章表彰を受けられる方々がおられます。

受賞者の皆様の活動に深く敬意を表しますとともに、本日の受賞を心からお祝い申し上げます。

本日ここに、令和八年度春季善行表彰式及び特別善行表彰式を執り行うに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

このたび、受賞を受けられます皆様は、北は北海道から南は沖縄県まで、地域社会において、特に顕著な善行を実践された方々であります。

また、国を越えて日本の地域社会のために善行を行って下さった外国の方々、更に、既に善行表



ます皆様も、受賞を契機に、更なる善行を重ねられますよう期待いたしております。皆様の思いやりと奉仕の精神に支えられた一つ一つの善行が積み重なり、継続することによって長い間には大きな輪となって広がり、日本を、ひいては世界を明るく住みよい社会とする原動力になるものと確信しております。

終わりに、本日受賞されます皆様、並びにご列席いただきました方々のご健勝と、益々のご活躍をお祈り申し上げ、私のご挨拶と致します。

祝電を 寄せられた方々

(順不同敬称略)

宮城県知事 村井 嘉浩
群馬県知事 山本 一太
茨城県知事 大井川和彦
荒川区長 滝口 学
秩父市長 清野 和彦
柏市長 太田 和美
島根県大田市長 榎野 弘和
流山市教育委員会・教育長 吉田 瑞穂
足立区総務部長 松野 美幸
品川区地域振興部長 川島 淳成
目黒区教育長 高橋 和人
高知県南国市教育委員会課長 前田 康喜
日本善行会善行会理事・福島県支部事務局長 山崎 久夫

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。

選考経過報告

選考委員長



富士道 正 尋

都新宿区のグラウンドヒル市ケ谷会議室におきまして、春季善行表彰選考委員会を開催いたしました。

本日、表彰をお受けになる皆様方は、大きく四部門に分けられます。

皆様、本日は誠にとおめどうございます。選考委員会を代表いたしまして、簡単に選考の経過をご報告申し上げます。去る三月十八日、東京

第一に、「青少年善行表彰」では、青少年による模範的な善行を称えます。第二に、「緊急時貢献表彰」では、人命救助や災害対応などにおいて貢献された方々に栄誉を贈ります。第三に、「国

際貢献表彰」では、国際的な人道援助や文化交流に尽力された方々を対象とします。第四に、「外国人善行表彰」では、日本社会に貢献された外国人の方々の善行を称えます。

金章四十四名、善行銀章九十名の方々が選ばれました。いずれの善行も、地域において、「世のため、人のため」に尽くされ、他の模範となるものばかりでございます。本日ご受賞される皆様には、心より敬意を表しますとともに、今後も健康にご留意いただきながら、社会の一隅を照らす灯火として、日本善行会の明るい社会環境づくり運動にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

皆様、本日は、前年度の受賞者を代表して、一言お祝いの言葉を申し上げます。由緒あるこも明治神宮の杜も、爽やかな新緑が美しく映える季節となりました。本日、このように厳粛かつ盛大に式典が挙行されましたことを心よりお喜び申し上げます。皆様には、各地域において、それぞれの分野で

永年にわたり諸々の善行活動を推進され、この度、栄えある賞を受賞されましたこと、誠にとおめどうございます。心よりお祝い申し上げます。なお、不肖私も昨年の春、この会場において、特別善行金章を戴きました。これは、わが人生にとって大変栄誉なことであり、心から感謝致しているところであります。

私は、既に八十路半ば近くに至っておりますが、今は亡き両親から、幼少のころより、モラルやマナー、そしてボランティアの大切さなどを教えられてまいりました。困っている人へのちよっ

あります。さて、最近の社会情勢を見渡しますと、様々な課題が続く中、人と人との支え合いの大切さが改めて感じられております。また、その歩みの陰には、ご家族の支えがあることも忘れてはなりません。皆様の姿は、ご家族にとっても誇りであり、その想いはきつと次世代へと受け継がれていくものと確信しております。どうか今後とも、ご健康には十分に留意され、無理のない範囲でご活躍ください。本日の受賞がさらなる一歩となりますことを願っております。終わりに、日本善行会の益々のご発展と、皆様のご多幸、ご健勝をお祈りし、私の祝辞とさせていただきます。本日は誠にとおめどうございました。

祝 辞

秩父市副市長



引 間 淳 夫

本日、お集まりの受賞者の皆様は、様々な分野・地域において、それぞれの立場から、公共生活への貢献をはじめ、事故防止、環境美化、青少年指導や国際貢献などの活動に積極的に取り組んで来られたと思います。

また、本市から推薦し、本日受賞された 秩父第一小学校交通安全自転車チーム様におかれましては、令和七年八月に開催された「第五十七回交通安全こども自転車全国大会」において、埼玉県代表として出場し、団体の部で見事日本一に輝きました。これにより、全国大会二連覇を達成し、その功績を大きく評価していただきます。

児童たちの活躍は、秩父市が「交通安全都市」の宣言をするきっかけとなり、市民一人一人が交通ルールを守り、交通事故のない安全なまちづくりを目指すための重要な一歩となりました。

この度の受賞は秩父市におきましても大きな誇りであり、改めて、感謝を申し上げますとともに、今後とも交通事故防止の面において、お力添えいただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人日本善行会のますますのご発展を祈念するとともに、本日ご臨席の皆様のおさらなるご活躍とご健勝を祈念申し上げます。いのあいさつといたします。

皆様こんにちは。埼玉県秩父市副市長の引間淳夫でございます。一般社団法人 日本善行会「令和八年度 春季善行・特別善行表彰式」にあたり、お祝いのあいさつを申し上げます。この度、栄えある善行表彰を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。

児童たちは各種交通安全全キャンペーンにも積極的に参加しており、秩父地域における交通安全意識の向上に貢献し、皆がより安全で安心した生活を送るための励みになっております。このような

児童たちの活躍は、秩父市が「交通安全都市」の宣言をするきっかけとなり、市民一人一人が交通ルールを守り、交通事故のない安全なまちづくりを目指すための重要な一歩となりました。

結びに、一般社団法人日本善行会のますますのご発展を祈念するとともに、本日ご臨席の皆様のおさらなるご活躍とご健勝を祈念申し上げます。いのあいさつといたします。

祝 辞

前年度受賞者代表 前橋支部

大 和 英 雄



皆様、本日は、前年度の受賞者を代表して、一言お祝いの言葉を申し上げます。由緒あるこも明治神宮の杜も、爽やかな新緑が美しく映える季節となりました。本日、このように厳粛かつ盛大に式典が挙行されましたことを心よりお喜び申し上げます。皆様には、各地域において、それぞれの分野で

永年にわたり諸々の善行活動を推進され、この度、栄えある賞を受賞されましたこと、誠にとおめどうございます。心よりお祝い申し上げます。なお、不肖私も昨年の春、この会場において、特別善行金章を戴きました。これは、わが人生にとって大変栄誉なことであり、心から感謝致しているところであります。

私は、既に八十路半ば近くに至っておりますが、今は亡き両親から、幼少のころより、モラルやマナー、そしてボランティアの大切さなどを教えられてまいりました。困っている人へのちよっ

あります。さて、最近の社会情勢を見渡しますと、様々な課題が続く中、人と人との支え合いの大切さが改めて感じられております。また、その歩みの陰には、ご家族の支えがあることも忘れてはなりません。皆様の姿は、ご家族にとっても誇りであり、その想いはきつと次世代へと受け継がれていくものと確信しております。どうか今後とも、ご健康には十分に留意され、無理のない範囲でご活躍ください。本日の受賞がさらなる一歩となりますことを願っております。終わりに、日本善行会の益々のご発展と、皆様のご多幸、ご健勝をお祈りし、私の祝辞とさせていただきます。本日は誠にとおめどうございました。

祝 辞

在日米空軍 横田基地第三七四契約中隊司令

スコット・シュナイダー中佐



ア精神を体現し、より良い社会づくりに大きく寄与して来られた多くの方々に加わり、今年度、横田基地から五名が、奉仕活動を通じて地域社会に貢献したとして表彰いただきました。

この賞の授与にあたり、個人は単に少数の人々に影響を与えただけではありません。今日ここに集まりの受賞者の皆さまは、純粋な無私無欲の精神と寛大さをもって、他者の助けとなるために、自ら多くの時間を捧げてこられました。そのような努力には自己犠牲を伴います。しかし、皆さま

はそれを厭うことなく、善意を貫き、善行を重ねて参られました。それはまさに、一人ひとりの心の温かさや人格の素晴らしさを物語っています。その心は、明治神宮の精神に深く共鳴するものです。それというのも、私たちを取り囲んでいるこの「神宮の杜」が、日本のボランティア精神によって作られた森だからです。かつて、まさにこの地に、十二万本の献木が全国から集められ、植樹されました。献木の苗木は、時を経て、今日私たちが目にしている豊かな森へと成長しました。本日、善行表彰を授与される皆さまも、これまで支援してきた人々に、人間愛と思いやりの種を植えてこられました。幸運にも、日本を「第二のふ

皆様、こんにちは。横田基地第三七四契約中隊司令スコット・シュナイダー中佐です。今日、この由緒ある明治神宮において本年度の善行表彰受賞者の皆さまをお祝いする式典に出席させて頂きますことを、大変光栄に存じます。ボランティア

はそれを厭うことなく、善意を貫き、善行を重ねて参られました。それはまさに、一人ひとりの心の温かさや人格の素晴らしさを物語っています。その心は、明治神宮の精神に深く共鳴するものです。それというのも、私たちを取り囲んでいるこの「神宮の杜」が、日本のボランティア精神によって作られた森だからです。かつて、まさにこの地に、十二万本の献木が全国から集められ、植樹されました。献木の苗木は、時を経て、今日私たちが目にしている豊かな森へと成長しました。本日、善行表彰を授与される皆さまも、これまで支援してきた人々に、人間愛と思いやりの種を植えてこられました。幸運にも、日本を「第二のふ

はそれを厭うことなく、善意を貫き、善行を重ねて参られました。それはまさに、一人ひとりの心の温かさや人格の素晴らしさを物語っています。その心は、明治神宮の精神に深く共鳴するものです。それというのも、私たちを取り囲んでいるこの「神宮の杜」が、日本のボランティア精神によって作られた森だからです。かつて、まさにこの地に、十二万本の献木が全国から集められ、植樹されました。献木の苗木は、時を経て、今日私たちが目にしている豊かな森へと成長しました。本日、善行表彰を授与される皆さまも、これまで支援してきた人々に、人間愛と思いやりの種を植えてこられました。幸運にも、日本を「第二のふ

はそれを厭うことなく、善意を貫き、善行を重ねて参られました。それはまさに、一人ひとりの心の温かさや人格の素晴らしさを物語っています。その心は、明治神宮の精神に深く共鳴するものです。それというのも、私たちを取り囲んでいるこの「神宮の杜」が、日本のボランティア精神によって作られた森だからです。かつて、まさにこの地に、十二万本の献木が全国から集められ、植樹されました。献木の苗木は、時を経て、今日私たちが目にしている豊かな森へと成長しました。本日、善行表彰を授与される皆さまも、これまで支援してきた人々に、人間愛と思いやりの種を植えてこられました。幸運にも、日本を「第二のふ

答 辞

春季善行表彰

受賞者代表

久保 樹



本日、この度は栄えある令和八年度春季善行表彰をいただき、大変うれしく思います。受賞者を代表し、日本善行会の皆様に心より感謝申し上げます。

私は小学生の頃から里神楽クラブに参加してきました。最初は見よう見まねでしたが、神楽の持つ独特の響きの美しさに

魅了され、夢中で練習に励んできました。小学校を卒業した後も、少しでも後輩たちの力になりたいと考え、クラブに残り、教える立場として参加を続けてまいりました。

現在は、成増里神楽保存会の一員として、笛方を務めております。保存会の先輩方から、祭囃子の笛や太鼓の技術だけでなく、地域に根付く伝統を守る心の在り方を学んでいます。一歩ずつではありますが、着実に力をつけ、様々な行事に参加できることにやりがいを感じています。

私の曾祖父、そして祖父も、この保存会のメンバーとして活動しており

ました。幼い頃から身近にあった里神楽の音色は、私にとって家族の絆そのものでもあります。

昨今、郷土芸能の継承者不足が課題となつていますが、私はこの大切な文化を絶やさないで、次の世代へと繋いでいく責任があると感じています。これからも、ご指導をいただき、皆様への感謝を忘れず、郷土の誇りである成増里神楽をさらに磨き上げ、積極的に活動してまいります。

最後になりますが、本日の表彰を糧に、これからも地域社会の一員として、自分にできることを精一杯取り組んでまいります。簡単ではございますが、これをもって御礼のあいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

答 辞

特別善行表彰

東京都板橋区

受賞者代表

四分一 明彦



新緑が目には沁みる今日、明治神宮参集殿において、春季善行表彰ならびに特別善行表彰の栄に浴し、受賞者を代表して、感謝と御礼のご挨拶をさせていただきます。

私は、四十三年前より中学生、三十六年前より大学生の野球を通して青少年育成に携わってまいりました。中学生には生

活指導・進路指導等を、大学生には人生相談や就職の支援を行い、野球を通して仲間の大切さや絆、人間関係を学び、若者たちが実社会で力強く羽ばたいてくれることを願って、共に汗を流してまいりました。

こうした活動を今日まで続けてこられたのも、家族の理解、そして諸先輩方や周囲の皆様のご指導・ご協力があったからこそと、深く感謝しております。

また、地域におきましては、悲惨な交通事故を少しでも無くすべく、『地域交通安全活動推進委員』として、交通事故撲滅の啓発活動に努めて

おります。先日も警察官二名が重傷を負うという痛ましい事故がありました。こうした悲劇を繰り返さぬよう、地域と協力し、地域社会の安全・安心を見守つていきたいと思っております。

『忠恕の心』を忘れずに、善行は「している」のではなく、「させていだいてくれる」ことを肝に銘じて、これからも精進していきたいと思います。

今後、板橋支部として、善行表彰以外でも地域にいか貢献できることがないかと模索しております。

結びに日本善行会の益々のご発展と本日ご出席の皆様のご健勝を祈念いたしました。受賞者を代表し、感謝と御礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

春季善行表彰
(公共生活への貢献)
を受賞して

千葉県 高田 竜成



大学四年生の時、ボランティア募集をきっかけに、地域活動に関わり始めました。千葉県柏市の明原町会や豊四季台地域で、企画運営、広報物の制作、空間演出、SNS発信などを行つていました。

明原町会では、夏祭りのリニューアルや子ども向けワークショップ、防災訓練、ピクニックイベ

ント、ロゴ公募などを通じて、こどもや若い世代が地域に関わるきっかけづくりに取り組んできました。また、豊四季台地域ふるさと協議会では「地域デザイン室」の立ち上げに関わり、地域行事の刷新やこどもの居場所づくり、関係者へのヒアリングを進めている。

ただ、私はこれらを「善い行い」だとはあまり思っていない。誰かのために自分の時間を犠牲にしているという感覚もない。むしろ、自分が一番楽しいと思つている。奉仕する側とされる側に分ける考え方は、少し前時代的かもしれない。

自分が楽しいことを続ける。その楽しさがまちにあふれた先に、結果として「善いまち」がつくられていくのだと思う。

日本善行会と私 第一回

勝野 堅介

創立八十周年の思い出

平成二十四年の春に当時の川村皓章日本善行会会長から、善行会に加わつてその活動の手伝い等をするよう頼まれました。

その年は創立七五周年にあたり、六月に記念式典と祝賀会が開かれまして。悪性腫瘍の手術を行つて退院した当日でしたが、私も参加させていただき、長い善行会の歴史に思いをはせました。

翌平成二十五年の六月の総会で理事に選任され、早速四年後の創立八〇周年に向けて準備を進めることになりました。

日本善行会の発足以来

支部だより

新宿支部

第二十四回善行会杯・少年サッカー大会・優勝決定戦

新宿支部長 前田 哲也

令和七年九月、十月に新宿区内のグラウンドにて優勝決定戦が開催されました。今大会は暑さ対策で開始時間を遅らせて夕方以降も試合を行い、ナイター照明をしました。

これにより高温注意報による延期にはならず順調に進み決勝戦を迎えられました。

小学生・一・二年生の試合は全人工芝のグラウンド

を使用出来ました。出場二十八チームに、選手約三百五十名が参加しました。

見学者は、予選と決勝トーナメントを併せて延べ五千名が来場しました。多少はわが子が成長する姿に大層が喜ぶが、マナーもよく相手チームへも拍手する姿勢は素晴らしいかったです。

表彰式には三百名以上が集まり善行会杯の人気の高さが感じられました。

新宿支部長から表彰状とトロフィーが渡され、集合写真も撮影出来ました。

二十四回善行会杯大会には新入会杯・中学生サッカー新人戦大会が始まりました。応援よろしくお願ひ致します。



新宿支部 サッカー部



80周年記念誌編集会議



記念のネクタイ



80年のあゆみ



80周年記念式典

令和八年度定時総会を開催

― 令和七年度事業・決算報告を承認、新役員を決定 ―

一般社団法人日本善行会は、令和八年六月十九日(金)グラントヒル市ヶ谷会議室(東京都新宿区)において、令和八年度定時総会を開催した。

勝野会長の挨拶の後、議長に山下純雲子副会長が選出され、議事に入った。

第一号議案「令和七年度事業報告及び収支決算報告の承認の件」について、事務局から議案内容の説明、浦野監事から監査結果の報告があった後、審議に入り、質疑の後、原案どおり可決された。続いて、第二号議案「定款一部改正の件」が

総会で 議決された 議案の内容

〇決議事項

令和七年度事業報告及び
決算報告の承認の件

令和七年度事業報告では、令和七年度事業計画に盛り込まれた春秋の善行表彰を初めとする各事業を滞りなく実施しました。

また、決算報告においては、前年度に比較し、

受取会費(会費収入)が五十万円増、寄付金収入が二百万円増となり、経常収益は二百三十九万円増の千七百十八万円となりました。

支出の部では、事務局長の業務引継期間の終了等により事業費人件費が百三十二万円減、褒章費はメダルやバッジの購入済の効果により八十四万円減、明るいニュースの隔月発行等により通信運搬費が七十七万円減、他方、消耗品費や印刷製本費が増加し、事業費合計は、前年度に対し、二百六十六万円減の千九百八万円となりました。

以上の収益と費用の結果、令和七年度は、前年度比較で収支が五百五万

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで (単位:円)

勘定科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
I. 経常収益			
①受取会費	12,845,548	12,343,250	502,298
普通会員会費収入	10,889,048	10,257,500	631,548
特別会員会費収入	1,720,000	1,820,000	△ 100,000
賛助会員会費収入	236,500	265,750	△ 29,250
②寄付金品等収入	4,080,000	2,106,825	1,973,175
③雑収入	258,063	343,947	△ 85,884
経常収益計	17,183,611	14,794,022	2,389,589
II. 経常費用			
①事業費支出	19,066,462	21,665,513	△ 2,599,051
②管理費支出	7,292,428	7,355,899	△ 63,471
経常費用計	26,358,890	29,021,412	△ 2,662,522
当期経常増減額	△ 9,175,279	△ 14,227,390	5,052,111
一般正味財産期首残高	104,548,804	118,776,194	△ 14,227,390
正味財産期末残高	95,373,525	104,548,804	△ 9,175,279

円改善し、▲九百十七万円となりました。

第二号議案 定款一部改正の件

近年のボランティア活動においては、活動継続のために参加者に必要な実費等を補填する形態(交通費等の実費弁償又はこれに準ずる謝金等の支払い)が一般的となつていきます。このような観点から、第三条「無償の奉仕活動」の箇所について、「無償」を削除し、昨今の形態を包摂する表現に見直すものです。

〇報告事項

令和八年度事業計画及び収支予算については、事業計画では、春秋の善行表彰、善行実践活動の推進、長寿善行者の秋篠宮皇嗣殿下ご接見等の各事業を実施予定です。

また、議事録の作成及び管理について、実務の効率化及び電子化への対応を図るため、第三十三条における議事録への押印義務を緩和し、「署名又は記名押印」とするもの

役員名簿

(五十音順)

《理事二十七名》

相澤 克也 石毛 利雄 太田 征二 勝野 堅介 栗原 忍 黒澤 猛 黒瀧 信 倉益 三章 元角 昌 小島 力 島村 弘 高岸 哲 高田 修 高橋 夫 千葉 睦 鳥巢 正行 永津 彦 西村 弘 平井 憲太郎 松井 猛 松本 力ネ子 三浦 忍 宮村 文隆 安田 権寧 山崎 久夫 山下 純雲子 やまだ 加奈子 浦野 秀樹 志村 宗男 轟 藏

第一回理事会 (みなし決議) について

令和八年五月一日付けで、会長が理事及び監事に対して、①令和七年度事業報告書及び決算報告書の承認の件、②次期役員候補者選任の件について提案を行い、当該提案について理事全員から書面による同意の意思表示を得、かつ、監事全員から異議を申し立てない旨の確認の意思表示を書面により得た。これにより一般社団法人日本善行会定款三十二条二項の規定に基づき、令和八年五月

第二回理事会 について

令和八年六月十九日(金)、グラントヒル市ヶ谷会議室で開催した。総会で選任された新理事による会議が開催され、互選の結果、会長(代表理事)に勝野堅介氏が、副会長に相澤克也、高田修、山下純雲子の三氏が、常務理事に石毛利雄、黒澤猛、島村弘子、松本力ネ子の四氏が選出された。

協賛広告



価格 2,640 円(税込・送料込)



価格 1,650 円(税・送料込)



価格 1,760 円(税・送料込)

申込先：東京都北区赤羽西 4-49-3 安田権寧
電話 03-3906-0117
メールアドレス kennei2001@gmail.com